

1年組 道徳学習指導案

場所 1年組教室
 授業者 永田 清子

1. 主題構成表

主題名 思いやる心

資料名 「はしのうえのおおかみ」

出典 「1ねんせいのどうとく」文溪堂

内容項目 2 (2) 身近にいる幼い人や高齢者に温かい心で接し、親切にする。	価値の分析	資料の分析
<p>児童の実態</p> <p>1年生の子どもたちにとって、相手の立場や、気持ちを考えることはなかなか難しいことである。子どもたちは、誰にでも親切にしなければならないということ、観念的には理解している。しかし、学級での生活を見ていると、自己中心の傾向が多く、自分のものでなければ落ちていた物を拾わなかったり、隣の子が牛乳をこぼしても、知らない顔で食べていたりする。また、親切にしているつもりでも、相手の気持ちを考えずに世話をやいているだけだったり、大人に褒められたいだけの行動であったりする。</p> <p>意識の要因</p> <p>人に親切にする事は、生活していく中で欠かせない事だということ、は理解しているが、実生活で行うことは育っていく段階である。人に親切にすると相手も自分も気持ち良いという体験が少ない。</p>	<p>人間は、本来温かい心をもっている。しかし、現実生活の中では、相手の立場を無視して、自分の都合などで動きがちである。親切とは、相手の立場になってものごとを考え、手を差し伸べる事である。困っている人、悲しんでいる人はもちろん、誰に対しても、その人の立場になって温かい心で接しようとする事により、親切な行いがうまれるのである。</p> <p>相手に親切にできることは、人間関係を築き、社会で生活していくために欠かせない態度であり、小さい頃から相手の立場を考え、思いやりの心を育てていかななくてはならない。しかし、社会性がまだ十分に育ってなく、自己中心的な1年生には、まずは身近な友だちや幼い子に対して親切にすることの大切さに気付かせていきたい。</p>	<p>資料「はしのうえのおおかみ」は、1本橋を渡ってくる自分よりも弱い動物達に意地悪をして楽しんでいたおおかみが、自分よりも強いくまに対しては、「おさきにどうぞ。」と譲ろうとする。ところが、体も力も強いくまが、おおかみに対して少しもいばらずに、やさしい行為で接する。親切にされたおおかみは、今までの自分の行為を反省し、自分も弱い動物たちに親切にしようとする内容である。</p> <p>ここでは、おおかみの考えや気持ちに焦点をあてて、いじわるをしている時と、親切にされたあとのおおかみの言動や気持ちの変化を通して、人に親切にすることは、相手だけでなく、自分も気持ちの良いものであることに気付かせたい。そして、友だちや自分よりも幼い者に対して、親切にしようとする気持ちを育てたい。</p>

ねらい

自分よりも弱い相手に意地悪をしていたおおかみが、自分よりも強いくまに親切にされたときの気持ちを通して、誰に対しても温かい心で接し、親切にしようとする心情を育てる。

展開の構想

- ・今までの生活を振り返り、人に親切にしてもらった時の事を振り返り、価値への方向付けをする。
- ・自分より弱い相手にいじわるをして、優越感にひたっているおおかみの気持ちに気付かせる。
- ・くまに親切にされ、うれしく思うおおかみの気持ちを感じ取らせる。
- ・親切にされて今までの自分の行動を振り返ったおおかみの、言動と気持ちの変化を考えさせる。
- ・自分より幼い子に何をしてあげられるか、考える。

基本発問 (中心発問)

橋を渡ってくる動物たちを追い返しているおおかみは、どんな気持ちでしょうか。

おおかみは、くまに橋をわたしてもらった時どんな気持ちになったでしょうか。

くまのうしろ姿を見送りながら、おおかみはどんなことを考えているでしょうか。

2. 授業の展開

段階	学習活動（基本発問と予想される児童の反応）	支援・留意点
つかむ	<p>(1) 登場する動物のイメージを話し合う。</p> <p>うさぎは、どんな動物だと思いますか？たぬきは？きつねは？おおかみは？くまは？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うさぎさんは、ちいさくてかわいい。 ・おおかみは、こわそう。 ・くまは、大きくて強そう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・弱い動物と強い動物に分け、資料への興味付けをする。
深める	<p>(2) 資料を通して話し合う。 (教師が、資料を読む。)</p> <p>橋を渡ってくる動物たちを追い返しているおおかみは、どんな気持ちでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんな戻っていくからおもしろいなあ。 ・いじわるをするとおもしろいな。 ・おれは、強いから偉いんだ。 <p>おおかみは、くまに橋をわたしてもらった時どんな気持ちになったでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・くまさんは、やさしいな。 ・びっくりした。 ・やさしくしてもらって、うれしいな。 <p>くまのうしろ姿を見送りながら、おおかみはどんなことを考えているでしょうか。おおかみは、これからどうするかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分もあんなふうになりたいな。 ・自分は意地悪だったなあ。 ・今度から、他の動物に親切にしよう。 ・くまと同じようにして他の動物を渡してあげよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・黒板に絵やペープサートを張りながら、語り聞かせる。 ・くまの行動に着目させる。 ・ペープサートを使い、うさぎたちを追い返した時のおおかみの気持ちを考える。 ・うさぎやたぬきは、おおかみよりも小さくて、弱いから意地悪をしていることをおさえる。 ・弱いものには意地悪をしていたのに、自分よりも強いくまには態度が違う事に気付かせる。 ・やさしく親切にもらったおおかみのうれしい気持ちをつかませる。 ・いじわるな顔のおおかみとやさしい顔のおおかみを準備しておき、おおかみの気持ちの変化をつかませる。
見つめる	<p>(3) 自分より小さい保育園の子にどんなことをしてあげるといいか。自分にできる事を書き、発表する。 (心のノート P37)</p> <p>(4) 教師の説話を聞く。 ・保育園との交流の振り返りカードより</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回目の保育園との交流にむけて、自分は何をしてあげられるか考える。 ・時間を十分に取り、机間指導をしながら、思いやりの気持ちに線を引き、価値付けていく。 ・第1回目の保育園との交流から、保育園の子に親切にしていた子や、喜んでもらって嬉しかったという感想を紹介する。